

織田幹雄スクエア（海田公民館）は、
海田町の指定避難所として、
防災上重要な役割を持つ建物となります。

備蓄倉庫

3階の備蓄倉庫では、飲料水、食糧に加え、毛布や紙おむつ等の生活必需品、担架やブルーシート等の資機材を備蓄しています。

非常用発電設備

3階の発電設備は、停電した際も30時間程度連続発電が可能です。

織田ポール

織田幹雄スクエアの右側の掲揚ポールは、織田幹雄が第9回オリンピック三段跳で優勝した際の記録と同じ15m21cm、左側のポールは、昭和6年（1931年）に達成した世界記録と同じ15m58cmの高さを示しています。

千葉利之助顕彰碑

千葉利之助（1879-1969）は、昭和7年（1932年）から約2年間海田市町長を務めました。職を辞す際、海田市町の発展のためにと、千葉家に隣接する所有地及び建設費を寄附し、昭和10年に、現在の織田幹雄スクエアの建設地に「海田市公会堂」が建設されました。公会堂は、その後「海田市公民館」となり、昭和47年（1972年）にその役割を終えました。この碑はその事績を顕彰するため、建てられたものです。



〈利用案内〉

◎ 開館時間

月曜日～土曜日	9時～21時30分
日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日	9時～17時

◎ 休館日

12月29日～翌年の1月3日



織田幹雄スクエア
M.O.D.A square Kaitya

〒736-0066 広島県安芸郡海田町中店8番24号
tel. 082-822-7373 fax. 082-824-1125
e-mail. odasquare@town.kaitya.lg.jp



織田幹雄スクエア
M.O.D.A square Kaitya

海田公民館・織田幹雄記念館



織田幹雄スクエアコンセプト

織田幹雄スクエアは、海田町の社会教育の拠点である「海田公民館」と海田町出身で日本人初のオリンピック金メダリスト織田幹雄を顕彰する施設「織田幹雄記念館」の複合施設です。

隣接する旧千葉家住宅（広島県指定重要文化財・広島県指定名勝）と一体性を持った「本町の学びと歴史文化の拠点施設」としてオープンしました。

ロゴマークについて



1928年にオランダ・アムステルダムで開催されたオリンピックの陸上・三段跳で、織田幹雄が日本人として初めて優勝した際に、金メダルとともにディプロマ（賞状）が授与されました。織田幹雄スクエアのロゴマークは、そのディプロマをモチーフにしています。金と黒の2色で彩られたディプロマは、装飾的な幾何学図形を用いたデザインとなっており、アール・デコ様式の影響を強く受けています。（海田町所蔵資料。織田幹雄記念館で展示。）

